

特集 新しい学びのステージへ

- 生命教育講演会報告
- 第1回公開講座報告
- 日本語に関する取り組み
- 学友会活動報告／日本看護協会 会長表彰受賞
川崎エコプロジェクト／新任職員紹介
第3回公開講座
- インフォメーション

ふきん
の
ち



川崎医療短期大学 新しい学びのステージへ

川崎医療短期大学はこれまで、私立短大志願者数において全国トップクラスを誇り、就職率100%の総合医療短期大学として高い評価を受けてきました。今、その44年の歴史が大きく変わろうとしています。

平成29年度、本学の臨床検査科、放射線技術科、医療保育科の3学科が募集停止となり、川崎医療福祉大学の臨床検査学科、診療放射線技術学科、子ども医療福祉学科として新たなスタートを切ることになります。3学科が移ることはさびしい限りですが、その旅立ちを応援し、残る2学科もいっそう教育の充実を図っていきたいと考えています。

この変革が、5学科それぞれの学生にとってプラスとなるよう、教職員一同新たな挑戦に向けて進んでいきます。

3 学科が 川崎医療福祉大学へ 「改組」!



川崎医療福祉大学

平成 29 年 4 月から、川崎医療短期大学の臨床検査科、放射線技術科、医療保育科が、4 年制での教育を実施するため医療福祉大学の新学科として新たなステージに立ちます。改組される 3 学科の定員はそれぞれ 10 名ずつ増え、臨床検査学科と診療放射線技術学科は 60 名、子ども医療福祉学科は 80 名となります。新入生は、基本的に川崎医療福祉大学で学ぶこととなりますが、実験実習は本学の施設を使うこともあります。

改組によって、3 学科の 2 年生、3 年生にはどのような影響があるでしょうか。2 年生、3 年生は本学の学生ですから、これまで通り、本学で授業・実習を受けます。下級生がいないさびしさはあるでしょうが、教育の質が落ちることはありません。ただし、単位を落とした場合、1 年次開講科目については、他学科や医療福祉大学まで受講しに行かなければならなくなる場合があります。留年などの事態に陥らないようこれまで以上に学業に励みましょう。

臨床検査科から 臨床検査学科へ

本学臨床検査科は、40 年余りにわたって即戦力となる優れた臨床検査技師を輩出し、医療と社会に貢献してまいりました。しかし、昨今の膨大な医学知識・情報を修得した高度な専門的医療人を養成するために、平成 29 年度から 4 年制教育体制に改組することとなり

ました。今まで 3 年制で培ってきた専門的職業人教育の良さを堅持しつつ、今後は教養教育や研究面にも力を入れ、全人的医療の実践と医学の進歩に貢献できる人材の育成を目指します。

(臨床検査科 主任 通山 薫)

放射線技術科から 診療放射線技術学科へ

現在、診療放射線技師を養成する施設は全国に 47 校しかありません。そのうち 4 年制大学が 32 校、3 年制短期大学が 1 校、専門学校が 14 校です。つまり、新たに社会へ出ていく診療放射線技師の 70% 近くが学士以上の学歴を持っている状況です。日進月歩で進化し続

ける医療、診療放射線技術に対応するためだけでなく、社会的に他の学校の卒業生に負けない診療放射線技師を送り出すためには少なくとも 4 年制の教育が求められているのです。

(放射線技術科 副主任 荒尾 信一)

医療保育科から 子ども医療福祉学科へ

保育士不足が深刻な社会問題となっています。同時に通常の保育所・幼稚園等の多くが民営化していく中で、病気や発達障がいといった「医療」や、問題を抱えた家族に対する「相談援助（ソーシャルワーク）」に強い「子ども支援者」の育成が公的責任として強く

求められています。そのためには、支援者自身にも公務員等の安定した環境が必要です。医療を中心とした川崎学園の一員として、ノーブレス・オブリージュ（高貴な者の義務）が今求められています。

(医療保育科 教授 橋本 勇人)



看護科



充実の2学科 大きく

川崎医療短期大学は、
の2学科となります。こ
整えてさらにパワーアッ

① 3年間だからこそ、充実した学習生活を

入学が決まった時から、「入学前学習」で学習の基礎を固めます。入学後は、カリキュラムポリシーに沿って学習を積み上げていきます。看護科と医療介護福祉科の2学科になるという教育環境の変化によって、少人数クラスという学習環境をさらに強化します。3年間で看護師になる意欲のある学生たちの、充実した学生生活を保証します。

② 指導者の多くが先輩という恵まれた教育環境

現在、川崎医科大学附属病院の看護職約900人中450人が本学の卒業生です。専門的な資格を持つ先輩たちに刺激されて、スキルアップに挑戦する学生もいます。学びの場となる学内や臨床実習での指導者の多くが先輩という実習環境は、ホームグラウンドのように安心できる環境と言えるでしょう。

③ 将来を見据えた看護師育成

2025年問題に伴い、これまでも増して看護師の活躍が期待されています。今後は、急性期医療にかかわる大学病院などよりも、在宅や訪問看護など、地域に密着した看護の場が重視され、就職先もそれらの分野へと移行していくことが予測されます。そのため、新卒訪問看護育成事業や訪問看護ステーションの職場体験など、将来を見据えた看護師育成にも力を注いでいます。

④ 母校愛が支える44年の歴史

創設から44年、第1期生が卒業して以来41年間、4,400人を超える卒業生を送り出してきました。国内の学会や研修会に参加すれば、必ずと言っていいほど同窓生に出会うことができます。同窓生が出会えば、母校愛にあふれた懐かしい学生時代の話が花が咲くことでしょう。全国の同窓生の母校愛と本学卒業生としての誇りが、看護科の歴史をしっかりと支えています。



医療介護福祉科

科へ、
く飛躍!

看護科と医療介護福祉科
れまで以上に教育体制を
プします。



① オリジナルな介護実習

本学独自の学外実習のプログラムを順次実施することで利用者の生活を知り、実践的な介護技術、コミュニケーション能力、アセスメント能力を習得できます。教員は、学生が実習中に解決できなかった問題を速やかに解決できるように手助けします。学生にとって学外実習は初めてのことばかりですが、いつでも教員や実習指導者に相談できるようになっています。

② 教員のきめ細かな指導

介護福祉士が最も力を発揮するのは介護技術です。食事の支援や入浴、排泄など、介護福祉士にしかできないプロの支援方法について、多くの教員がきめ細かく指導します。入学当初から始まる介護技術の演習では、5人の学生を1人の教員が丁寧に指導し、利用者の尊厳を守りながら介助する方法を学びます。

③ 介護福祉士としての多様な就職先

就職率は毎年100%です。高齢者や障がい者の施設に限らず、川崎医科大学総合医療センター（現 川崎医科大学附属川崎病院）などの医療機関への就職支援にも積極的に取り組んでいます。本学は、他の養成校よりも医療系の講義が豊富であり、医療の知識をしっかりと学ぶことが医療機関への就職につながります。また、多くの卒業生が介護老人福祉施設などでリーダーとして活躍しています。

④ 就職の選択肢を広げるダブルライセンス

卒業後に福祉系4年制大学へ編入学することで、介護福祉士と社会福祉士の2つの国家資格を取得することが可能です。ダブルライセンスを得ることで、病院でソーシャルワーカーとして働くことも可能になります。川崎医療福祉大学医療福祉学科には多数の卒業生が編入学し、本学での学びを生かしてダブルライセンスを取得しています。

入学試験が変わる！

改組とともに、入試も大きく変わります。

1. 合同入試実施へ

これまで川崎医療福祉大学、川崎医療短期大学、川崎リハビリテーション学院の各施設でそれぞれ実施されていた入学試験が同じ試験日、同じ試験内容になり、出願手続きも3教育機関合同の「アドミッションセンター」が担当することになります。

2. 「基礎学力確認テスト」の導入

AO入試、推薦入試、一般入試後期で、基礎学力確認テストが導入されます。したがってこれらの入試区分での合否判定は、基礎学力確認テスト、面接、調査書（AO入試の場合はエントリーシート、推薦入試の場合は推薦書を加える）によって総合的に行われることとなります。

3. 併願入試が可能に

AO入試および推薦入試前期は各施設で行いますが、推薦入試後期、一般入試前期、一般入試後期、センター試験入試は基本的に、川崎医療福祉大学および学外入試会場での合同入試となり、すべての施設、学科間での併願が可能になります。

4. 学力試験科目の統一

一般入試前期では科目試験が実施されます。コミュニケーション英語I・II、国語（古典を除く）、数学I、生物、物理、化学（基礎付、基礎なし）、日本史Bから2科目選んで受けることとなります。問題は3教育機関共通です。

5. すべての試験で面接導入

AO入試および推薦入試前期は、本学で「個人面接」を行います。推薦入試後期、一般入試前期、一般入試後期、センター試験入試では「集団面接」となり、会場も川崎医療福祉大学あるいは学外入試会場となります。

6. 出願はWebのみ

出願のための書類はインターネットからダウンロードし、出願もネットから行います。

7. 特待生制度の導入

一般入試前期の科目試験の結果、各学科において学力テスト2科目の合計点の上位者で、80%以上の得点があった人に対し、初年度の授業料および教育充実費の全額が免除されます。

8. 在学生兄弟姉妹入学金減免制度

兄弟姉妹が川崎医療福祉大学・川崎医療短期大学・川崎リハビリテーション学院のいずれかに在籍（入学日時点）している場合（大学院生は除く）入学者の申請により入学金の2分の1を奨学金として給付します。



オープンキャンパスにぜひご参加ください。

大幅に入試が変わります。オープンキャンパスでは受験生の皆さんの不安に対応し、わかりやすく説明いたします。

入試カレンダー

年 月	入試区分	AO入試		推薦入試		一般入試 前期 (A日程・B日程) チャレンジ受験 (A日程・B日程) センター試験利用入試	一般入試
		前期 専願	後期 専願	前期 専願	後期 (A日程・B日程)		後期
2016年	8月	出願期間 8/5(金) 8/17(水) 試験日 8/27(土) 合格発表 9/2(金)					
	9月		出願期間 9/5(月) 9/13(火) 試験日 9/24(土) 合格発表 9/30(金)				
	10月		出願期間 10/7(金) 10/17(月) 試験日 10/29(土) 合格発表 11/4(金)				
	11月			出願期間 11/4(金) 11/12(土) 試験日 [A日程] 11/25(金) [B日程] 11/26(土) 合格発表 12/2(金)			
	12月						
2017年	1月					出願期間 1/5(木) 1/17(火) 試験日 [A日程] 1/30(月) [B日程] 1/31(火) 合格発表 2/7(火)	
	2月						出願期間 2/7(火) 試験日 2/13(月) 2/22(水) 合格発表 2/27(月)
	3月						

入試選考方法・日程

専願	入試区分	学力テスト	面接	提出書類	試験日
	AO入試前期	基礎学力確認テスト (100点)	個人面接	調査書、エントリーシート	8月27日(土)
	AO入試後期	基礎学力確認テスト (100点)	個人面接	調査書、エントリーシート	9月24日(土)
	推薦入試前期公募	基礎学力確認テスト (100点)	個人面接	調査書、推薦書	10月29日(土)
	推薦入試前期指定校、有資格	(資格証明書の提出)	個人面接	調査書、推薦書	10月29日(土)

併願	入試区分	学力テスト	面接	提出書類	試験日
	推薦入試後期A日程・B日程	基礎学力確認テスト (100点)	集団面接	調査書 推薦書	A : 11月25日(土) B : 11月26日(日)
	一般入試前期A日程・B日程	科目 (2科目選択、200点) コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、国語 (古典を除く)、日本史B、数学Ⅰ、 物理基礎、化学基礎、生物基礎、物理、化学、生物	集団面接	調査書	A : 1月30日(月) B : 1月31日(火)
	センター試験利用入試	センター試験科目から2科目選択 (200点)	集団面接	調査書	1月30日(月) 1月31日(火)
	一般入試後期	基礎学力確認テスト (100点)	集団面接	調査書	2月22日(火)

*AO入試 (前期・後期)、推薦入試前期 (有資格、指定校含む) ・推薦入試後期の合格者で入学手続きを済ませたものは、一般入試前期の試験を受けて特待生制度にチャレンジすることができます。

*基礎学力確認テストは、英語、国語、数学、社会 (地歴公民)、理科 (物理化学生物) それぞれ20点配分で、高等学校1年次までの基礎学力を判定します。

*学外入試会場は、東京、名古屋、大阪、米子、広島、山口、高松、松山、高知、福岡、鹿児島市の各都市に設けられます。

*入学検定料は30,000円 (チャレンジ受験およびセンター試験利用入試は10,000円) で、併願の場合は1学科につき10,000円必要となります。

生命教育講演会

「輝くいのちを見つめて」

平成28年7月2日(土)に、「川崎祐宣記念講堂」において、生命教育講演会(川崎医療短期大学主催、川崎医療福祉大学共催、本学ハラスメント防止委員会企画)を開催しました。講師として竹内 昌彦先生をお招きし、「輝くいのちを見つめて 私の歩んだ道～見えないから見えたもの～」という演題でお話をいただきました。川崎リハビリテーション学院の方々も含め、約850人の教職員・学生の参加を得ることができました。

竹内先生は、東京パラリンピック卓球の金メダリストとして知られる方で、岡山県立岡山盲学校教頭を経て、現在は岡山ライトハウス理事長として活躍されています。さらに、アジアの視覚障害者の自立を願い、「命の大切さ」をテーマにして2,000回を超える講演会活動を各地で行ってこられました。謝礼金や著書の売上金、募金を元に、モンゴルに盲学校を設立し、現在も熱心に支援活動を続けておられます。

ご講演に先立ち、小池 将文学長が

開会の挨拶の中で、竹内先生の愛といのちの半生を描いたご著書や映画を取り上げ、先生のご活躍を紹介しました。ご講演の中で竹内先生は、視覚障がい者への理解を促され、岡山県は黄色い点字ブロック発祥の地であること、点字ブロックの上に自転車を置かないことなどについて、時にユーモアを交えながら、分かりやすくお話してくださいました。先生は、幼いころからの障がいにも決して諦めることなく歩まれ、何事も前向きに克服してこられました。ご両親の深い愛情に支えられてきたこと、周りの人々への感謝を忘れなかったことなど、たくましく歩まれてきた半生を語ってくださいました。さらに、病気のご子息についてもお話になり、懸命に生きようとするわが子の命を守ろうとした先生ご夫妻の愛情や生き様についてもご紹介くださいました。先生は、若い学生たちに向けて、「私を産んでくれてありがとう、生まれてきてよかったと思います。若い皆さん、どんなに大変なときでも授かった尊い命を大切

にし、生きる勇気を持ち希望を抱いて生きてください」と語りかけてくれました。

最後に、川崎医療福祉大学の秋山 祐治副学長が閉会の挨拶を行い、竹内先生のお話に感謝の意を述べられ、生命教育講演会を終了しました。

竹内先生のお話には、会場に集まった教職員・学生は深く感銘を受けたものと思います。先生の生き様や前向きな姿勢には、聴く者の胸を熱くさせるものがありました。参加者からは、「講演会に参加してよかったです。感動して涙が出ました」などの喜びの声をたくさん聞くことができました。温かく力強いお言葉が、一人ひとりの参加者の心に届いたものと思います。

今回の講演会では、かけがえのない命の尊さ、感謝して生きることの大切さを改めて教えていただくことができました。良き医療人育成のため、川崎学園のますますの発展を祈りながら、先生の教えを今後に生かしていきたいと思っております。ご講演いただいた竹内先生に深謝するとともに、参加していただいた学生、教職員の皆様に心より感謝いたします。

(ハラスメント防止委員会委員長 永瀬 澄香)

岡山ライトハウス理事長
竹内 昌彦先生



◆臨床検査科2年の宇田 悠斗君の感想文を紹介します。

竹内先生には、目の障がいがありますが、それを感じさせないような元気さとはつらつきがあり、強く一生懸命に生きていらっしゃいます。その姿を見て、大切なことを学びました。私が先生の話の中で特に感動したのは「見えないから見えたもの」という言葉です。私は健康な体に生まれてきています。また、健康な体に生まれるのが当たり前だと思って生きてきました。しかし、健康な体に生まれたのは当たり前ではなく、障がいのある方々が私の体を障がいから守ってくれたことが分かりました。障がいのある方々を近くに感じる事ができた気がします。これからは健康な体と命に感謝して、医療人として人々に貢献していきたいと思っております。

平成28年度 第1回 公開講座報告

いつまでも健康でいるために

～介護予防のために私たちができること～

安本 勝博（津山市役所健康増進課 作業療法士）

平成28年6月18日（土）に第1回公開講座（主幹：医療介護福祉科）を開催しました。高齢になっても、住み慣れた地域で自立した日常生活をいつまでも営むために、私たちが今できることを講師のお話を聴きながら一緒に考えていきました。

介護予防とは

介護予防とは、介護が必要な状態にならないための予防と介護状態がより悪くならないための予防のことです。介護予防には一次から三次まであります。一次予防は健康な方を対象に、発病そのものを予防する取り組み、二次予防は疾病を早期に発見し早期に治療する取り組み、三次予防は重度化を防止する取り組みです。



介護予防が国の制度として正式に発表されたのは、平成18年度のことです。その当時要支援認定を受けた約半数の方は、軽い方が多く骨関節疾患や骨折の方でした。この方々を元気にするために始まった施策が介護保険事業です。その当時、できる力があるにもかかわらず、サービスが必要以上に提供され、できる力を奪ってしまっているのではないかと議論もありました。現在では、できる力を伸ばすという意味においても、介護予防は重要だと考えられています。

皆さんは健康ですか？

WHOの定める健康の定義を簡単に言うと、「からだところまわりの人との関わりが良い状態のこと」です。健康とは、他人が決めるものではなく、自分自身が決めるものです。

【健康な人はどんな人 8項目】

- ①自分ですることがたくさんある人
- ②家族や近所とうまくお付き合いできる人（支えがある人）
- ③趣味を持っている人
- ④よく外出する人
- ⑤家族や地域に貢献している人
- ⑥運動習慣がある人
- ⑦痛みはあっても、きちんと管理してもらっている人
- ⑧生きがいがある人

津山市の取り組み

取り組みの紹介

講師の勤務先である津山市で開催されている「めざせ元気!! こけないからだ講座」では、高齢者の方が週1回、公民館や集会場に集まり、調節可能な重りを使った体操に取り組んでいます。これは、米国国立保健研究所・老化医学研究所推奨のもので、自分に合った重りを計算し、歌を歌いながら6種類の運動を行います。1人で運動を継続することは難しいですが、定期的に地域の方同士で集まり実践することで継続を可能にしています。たった6種類の体操ですが、3か月続けることで、歩幅が大きくなり杖なしで歩けるようになったり、手をつかなくても座れるようになったり、病院へかかる機会が減ったりしています。

津山市では、365地区のうち196地区（53.7%）で実施しており、高齢者29,827人のうち3,800人（12.7%）が参加しています。平成25年度の介護予防教室の開催数、参加者数共に全国1位となりました。

継続している理由

年を重ねても目標を持ってやる気を出せば良くなることのできる、顔見知りと一緒にぼつぼつ実践することで安心して続けることができるというのが継続している理由です。

もう一つの大きな理由は、身近な場所に定期的集まることで地域のコミュニティができることです。最初は、地域包括支援センターが運営を手助けしますが、少しずつ地域の方が自分たちで決めて運営する形をとっています。

自分が元気になれば、周りが元気になり、地域が元気になる、この流れが継続のポイントです。また、定期的集まることで周りの人への関心が広がります。2週間続けて事前の連絡なしに休むとリーダーさんが連絡を取り合うなど、地域の中での見守りが定着し、本人には、見守ってもらえているという安心感が生まれてきます。

ぜひ、この取り組みを皆さんの周りでも取り入れて、介護予防を試みてください。

私の好きな○○

vol. 5

今回は、「海」をテーマにした作品を最優秀賞に、「祭り」「田舎」「小説」をテーマにした作品をそれぞれ優秀賞に選びました。いずれも着眼点がすばらしく、若々しい感性で書かれた良い作品だと思います。



最優秀賞
放射線技術科2年
古謝辰樹

私の好きな海

私は海が大好きだ。日中に泳ぐのも楽しいが、なんといっても夜の海で波の音を聞きながら何も考えずにぼーっとしているのが本当に心地良い。

私は沖縄県の出身で、とてもきれいな海に囲まれて育った。小さいころから海によく行っており、そのような海があたり前のものと思っていた。沖縄から出て初めて、沖縄の海は特別なのだということを感じた。海が恋しくて、長期休暇で帰省するや否や、夜の海に行った。満天の星空の下、波の音を聞いていると心がすっと軽くなり、この時間がこのまま続いてほしいと願うような幸せな気持ちになった。好きな人と一緒にいられたら、もっと幸せなことであろう。

私は海、特に沖縄の海が大好きだ。次の長期休暇が待ち遠しい。早く帰って、あの心地良い時間をまた味わいたいと思う。近くにあるときには気づかず、離れたたり失ったりすることで気づくことの大切さを感じている。

川崎医療短期大学



優秀賞
放射線技術科2年
戸成史乃

私の好きな祭り

祭りというのは伝統的なものであり、見るのも参加するのも非常に楽しいものだ。祭りに込められた人々の思いや歴史的背景を知れば、ますます魅力的だと感じるだろう。祭りにはさまざまな種類のものであるが、私が好きなのは「火祭り」である。

私の父は写真を撮ることが趣味であり、よく祭りに行っている。そんな父について行き、さまざまな祭りを見てきたが、中でも私を引き付けたのは「ケベス祭」であった。この祭りは大分県の国東半島で行われる知る人ぞ知る火祭りである。奇怪な仮面をつけて火の付いたシダを持って追いかけてくるなど、なかなか奇妙な祭りだ。参加者全員が叫びながら逃げまどう姿は、いつ見ても面白い。

私が火祭りを好きな理由は、その場にいる皆の心が一つになるからであると思う。見るだけの祭りではなく、自分がまるで祭りの大事な一つの要素のように思われるような、そんな祭りが大好きなのだ。

川崎医療短期大学



優秀賞
放射線技術科2年
宇山友二

私の好きな田舎

「田舎」という言葉から、人はどんなことを想像するだろうか。何もない、不便、人が少ないなどということと連想する人も多いだろう。そこで今回、私の好きな田舎のすばらしさを伝えたいと思う。

私は広島県の庄原という場所の出身である。確かに田舎である。しかし、田舎ならではの良さがたくさんある。朝起きて窓を開けると、小鳥のさえずりときれいな空気がある。朝食、昼食、夕食はすべて地産地消だ。登校中には近所の人に明るく挨拶をする。体育の授業では大自然の中でマラソンをし、山に隠れる夕日を見ながら下校する。春にはたくさんの野桜で花見をする。夏には澄んだ水の流れる川で遊び、秋には山の紅葉を楽しむ。冬はスキーやスノーボードの季節だ。このように、囲まれている自然と親しくなるだけで、日常生活は少し違って見えてくる。

不便だからこそ、小さなことにも幸せを感じられる。それが「田舎」であると私は思う。

川崎医療短期大学



優秀賞
看護科2年
蔣韻璐

私の好きな小説

私は小説が好きです。小説の世界には限界がありません。まるで幻想で作られた世界であるかのように、たくさんの可能性に満ちています。さまざまな人物と出会い、さまざまな世界観や文化があります。まるでアリスのように不思議の国に入り込むことができます。

小説を読むとき、作者の細やかな気持ちを感じます。悲しい心、楽しい心、怒り、絶望、希望など、たくさんの気持ちを共有することができます。私は、小説を読むことは作者との精神的コミュニケーションだと思っています。彼らは自身の心の中の夢や思いを小説として描きます。作者の気持ちや登場人物に託した思いが私の共感呼びます。「世界は美しくなんかない。そしてそれ故に美しい」、これは、時雨沢恵一の『キノの旅』のセリフです。私はこのセリフが大好きです。

小説は夢です。夢は心に映るものです。私は小説はすばらしいものだと思っています。

川崎医療短期大学



熊本地震への支援

学友会活動報告

私たち学友会は、熊本地震で被災された方々を支援するため、十数人ずつが義援金募金箱を持って学生ホールに立ち、さらに放送で募金の呼び掛けを行いました。パン・デランチさんや高島屋さんにもご協力いただき、募金箱を設置したところ、皆様からの義援金総額は41,247円になりました。この全額を、6月9日(木)に日本赤十字社に送金いたしました。多くの皆様から温かいご支援をいただき、心よりお礼申し上げます。

被災地ではいまだに多くの方々が大変な思いをされていることを忘れないようにしたいと思います。一刻も早い復興を心より願っております。

(学友会委員長 臨床検査科2年 足立 菜々美)

地球温暖化対策
ワーキング
グループだより



川崎エコプロジェクト

朝の相棒

朝のコーヒーやお茶に始まり、麦茶の作り置きや食事の準備などのため、我が家では常時ポットにお湯を保温していました。しかし、保温し続けることは便利な反面、電気代の無駄遣いではないかということに気づき、ポットをやめて必要なときにすぐに湯を沸かせる電気ケトルに買い替えることを思い立ちました。

めったに行くことのない家電量販店で、凝ったデザインやコンパクトなものなど、さまざまな種類の中から迷いながら、手ごろな商品を見つけました。購入した電気ケトルは短時間で湯を沸騰させることができるため、せっかちな私の相棒として、とても重宝しています。

店では、炊飯器や電子レンジなどの高価で高性能なものにも目を奪われそうになりました。けれども、普段何気なく使っている家電製品を見直すことも、無駄遣いをなくして電気代の節約にもつながる、身近なエコなのかもしれません。

(学生寮 舎監 中務 完次)

新任職員紹介

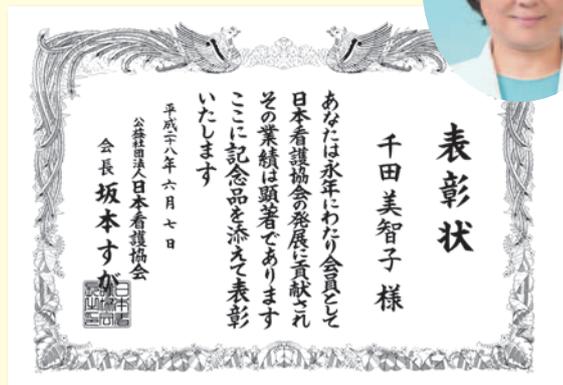
本学の仲間になった職員の方を紹介します。



伊地知 真央 教務課 事務職員

皆さんが快適な学生生活を送るためのお手伝いができるよう、微力ながら頑張りたいと思います。分からないことや困ったことがあれば、なんでもお気軽に声を掛けてください。

看護科 千田 美智子 教授 日本看護協会 会長表彰を受賞



公益社団法人日本看護協会から、永年にわたり会員として日本看護協会の発展に貢献するとともに、看護職として看護業務に顕著な功績があったと認められた人に贈られる「日本看護協会会長表彰」を、看護科の千田 美智子教授が受けました。授賞式は、6月7日(火)に千葉県の幕張メッセで開催された協会の通常総会において行われ、総会参加者2,700余人のもとで、岡山県の4人を含む全国134人が表彰されました。

平成28年度 第3回 公開講座

入場無料 (一般の方の参加をお待ちしています)

講座名 **発達障がいのある子どもへの支援**
—意味あるやりとりを目指して—

講師 重松 孝治
(本学医療保育科講師)

日時 平成28年10月8日(土)
14:00~16:00

会場 川崎医療短期大学
体育館 102講義室

お申し込み
お問い合わせ先
〒701-0194
岡山県倉敷市松島316
川崎医療短期大学 公開講座係
TEL:086-464-1032
FAX:086-463-4339
Eメール:koukai@jc.kawasaki-m.ac.jp



主要行事（10月～12月）

10月	1日	臨床検査科ワッペン授与式
	4日	臨床検査科2年実習開始式
	7日	全学科午後休講
	8日	学園祭（～9）
	〃	10月オープンキャンパス（～9）
	〃	第3回公開講座
	12日	医療保育科3年病児保育実習（～27）
	17日	臨床検査科2年臨床（臨地）実習（～2/16）
	19日	看護科3年実習終了式
	22日	看護科2年解剖学見学実習
29日	推薦入試前期（学生は校内立入禁止）	
11月	5日	看護科継続灯式
	7日	医療介護福祉科1年介護実習Ⅱ（～24）
	10日	看護科2年実習開始式
	11日	看護科3年精神看護学施設見学実習
	24日	全学科午後休講
	25日	推薦入試後期（～26）（学生は校内立入禁止）
	28日	医療保育科2年保育実習Ⅱ・Ⅲ（～12/9）
28日	看護科2年基礎看護学実習Ⅱ・Ⅲ（～12/24）	
12月	2日	看護科3年精神看護学施設見学実習
	3日	放射線技術科卒業研究発表会
	10日	臨床検査科研究発表会



第42回 川崎学園祭

2016年
10月8日(土)・9日(日)

川崎医科大学
川崎医科大学附属病院
川崎医科大学附属川崎病院
川崎医療福祉大学
川崎医療短期大学
川崎医科大学附属高等学校
専門学校川崎リハビリテーション学院



倉敷市松島577番地 <http://www.kawasaki-m.ac.jp/festival/>

〈統一テーマ〉

「笑顔満祭」

●〈コンセプト〉

●笑顔満載という言葉があります。みんなが笑顔であふれることを表す言葉です。ここに「満載」の「載」に「祭（さい）」の意味を含め「笑顔満祭」としました。

●笑顔があふれる楽しい学園祭にしようというコンセプトを込めました。

川崎医療短期大学広報誌 「若きいのち」（94号）

2016年9月発行

編集発行：広報誌編集委員会

河邊 聡子（医療介護福祉科・委員長）
見尾 久美恵（一般教養・副委員長）
重田 崇之（一般教養）
沖田 聖枝（看護科）
黒住 菜美（臨床検査科）
天野 貴司（放射線技術科）
重松 孝治（医療保育科）
桑田 俊明（庶務課）
松井 美奈（庶務課・書記）

写真協力：二葉写真館

印刷：友野印刷株式会社

皆さんからのご意見・ご要望をお待ちしております。

〒701-0194 倉敷市松島316

川崎医療短期大学 広報誌編集委員会

電話：086-464-1032（庶務課）

Eメール：kouhou@jc.kawasaki-m.ac.jp

ホームページ <http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/>

編集後記

今年の夏も例年通り、暑い夏になりました。暑さだけならまだしも、エアコンの風が苦手な私にとって、この夏は二重に厳しい季節でした。天候のことはどうしようもありませんが、秋を心待ちにしながらこの編集後記を執筆しております。

さて、特集でも取り上げましたように、川崎医療短期大学は現在、大きな「変化」のただ中にあります。私は臆病なため、変化にとても過敏に反応してしまいます。変化を前にすると、予測の困難な先行きに対して不安を感じてしまう……、私と同じように感じる方も多いと思います。気休めかもしれませんが、私が出会った言葉に次のようなものがあります。「変化は私たちが傷つけようとして起こるのではない。変化は私たちが成長を続けている証しなのだ」（ヘーゼルデン「今日一日のヒント」より）。この言葉のように、変化を成長につなげられるよう、臆病な私もまずは心構えだけでも、と考える次第です。

最後になりましたが、ご多忙の中、記事を執筆して下さった皆様に深くお礼申し上げます。

（重田 崇之）